

# 環境経済・政策学会 20 周年記念シンポジウム 「東アジアの持続可能な低炭素経済に向けて:エネルギーシステム, エネルギー税制, 政策協調のあり方」

## 1. シンポジウム開催日時および場所

2015 年 9 月 17 日(木) 13:00~18:00  
名古屋大学大学院国際開発研究科(8 階多目的オーデトリウム)

## 2. シンポジウムプログラム

司会: 藤川清史(名古屋大学国際開発研究科)

○開会の言葉およびシンポジウムの概説(13:00~13:20)

李 秀澈(名城大学経済学部)

「東アジアの持続可能な未来に向けたエネルギーシステムとエネルギー税制改革」

### 第 1 部 東アジアにおける持続可能なエネルギーシステムと電源選択

○講演 1(13:20~13:45)

小川祐貴(京都大学大学院地球環境学舎)・李 秀澈(名城大学経済学部)

「東アジアの電源選択と環境・経済効果: E3ME-Asia 計量経済モデルを用いた分析」

○講演 2 (13:45~14:10)

松本健一(滋賀県立大学環境科学部)

「気候変動政策下でのエネルギー安全保障: CGE モデルを用いた分析」

### 第 2 部 東アジアの持続可能な低炭素経済に向けたエネルギー税制改革

○講演 3 (14:10~14:35)

朴 勝俊(関西学院大学総合政策学部)

「東アジアのエネルギー税制改革の環境・経済効果: E3ME-Asia モデルを用いた分析」

○講演 4 (14:35~15:00)

李 態妍(龍谷大学経済学部)

「エネルギー税制改革と人的資本の形成」

休憩 15:00~15:20

### 第 3 部 エネルギー税制改革と国際競争力措置

○講演 5 (15:20~15:55)

ヘクター・ポリット(ケンブリッジ・エコノメトリクス)

「エネルギー税の競争力効果とカーボンリーケージ: E3ME-Asia モデルを用いた分析」

○講演 6 (15:55~16:20)

伴ひかり(神戸学院大学経済学部)・藤川清史(名古屋大学国際開発研究科)

「東アジアにおける自由貿易の環境・経済影響」

### 第 4 部 総合討論および質疑応答(16:30~18:00): 日本・中国・韓国・台湾の役割

司会: 藤川清史(名古屋大学)

パネリスト: 高村ゆかり(名古屋大学), 芦名秀一(国立環境研究所), 劉憲兵(IGES),  
ジャン-フランソワ メルキュール(4CMR), 羅星仁(広島修道大学), 陳禮俊(山口大学)

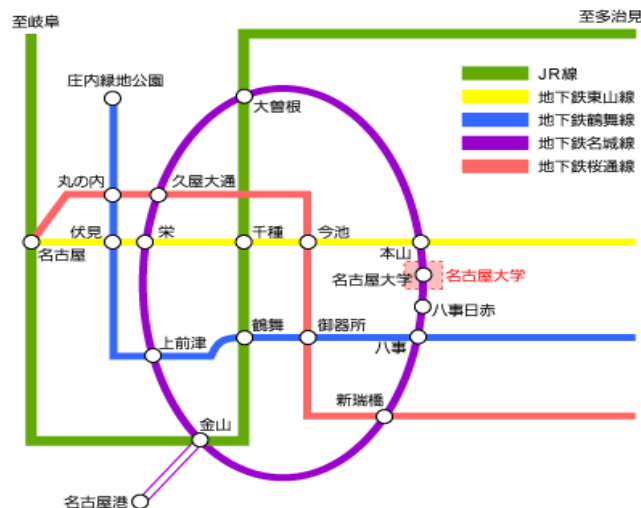
#### 【連絡先】

名城大学経済学部 李秀澈 slee@meijo-u.ac.jp

名古屋大学国際開発研究科 藤川清史 fujikawa@gsid.nagoya-u.ac.jp

### ○名古屋大学へのアクセス

名古屋駅より地下鉄東山線(藤が丘方面)に乗り、本山駅で乗り換え。  
本山駅から地下鉄名城線(右回り)に乗り、名古屋大学駅で下車。1番出口へ。



### ○国際開発研究科へのアクセス

地下鉄名城線名古屋大学で下車し、1番出口に向かう  
下記地図のルート1(南玄関ルート)かルート2(北玄関ルート)に沿って進む。  
(はじめて来られた方には、ルート1の方がわかりやすい。)  
シンポジウム会場は、国際開発研究科棟の8階のオーデトリウム



主催: 東アジア環境政策研究会, 環境経済・政策学会  
共催: 名古屋大学国際開発研究科, 名城大学経済学部

reeps

環境経済・政策学会  
Society for Environmental Economics and Policy Studies

科研費  
KAKENHI